

必要経費の目安

ご出発前

ご案内の旅行費用以外に、下記の諸費用が別途かかります。

●パスポート（旅券）を新たに申請される方

印紙代	11,000円（5年旅券）～16,000円（10年旅券）
その他	戸籍抄本（謄本）と住民票の手数料、写真代など

●海外旅行傷害保険（任意）

セット保険料（例）	7,470円～15,450円（8日間プラン）※詳細は手続き案内にて
-----------	-----------------------------------

※ご家族用の保険やクレジットカード付帯保険対応のものまでございます。お気軽にお問合せください。

●一人部屋追加費用

一人部屋希望の場合	85,000円（お一人でご参加の方）
-----------	--------------------

※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。

●前泊ホテル費用

※お申し込みいただいた時点での空室状況によって、ご案内以外のホテルになる場合もございます。

●手続き手数料、オプションルツアー代、選択コース代、空港税等

燃油付加運賃、空港税等	約95,000円 ※2023年6月現在、レートによって変動します
-------------	----------------------------------

●発着空港とご自宅までの交通費

ご旅行中

※下記の金額はあくまでも目安です。

- 食事代（旅程に含まれない自由食）5,000円～10,000円（1回）
- 飲み物代（飲み物は食事に含まれません）1,000円程度（1杯）
- 自由行動時の交通費や入場料など
- その他（お土産代、電話・fax、切手などの個人的費用）等

■時間帯の目安

およそ以下の通りです。航空機・バスなどの移動の発着時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4:00	6:00	8:00	12:00	17:00	19:00	23:00 4:00

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

 株式会社 富士国際旅行社

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201
Mail: henshu@fits-tyo.com 担当: 山田・金光・小山

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7ヒューリック
みなとみらい11F-4 総合旅行業務取扱管理者: 西須輝理

営業時間: 月～金曜日／AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

- ①下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。
- ②予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。条件確認後、申込書をお送りいただき、申込金50,000円（旅行代金内金）を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）

郵便振替口座番号 00140-4-39332 加入者名 株式会社 富士国際旅行社

③ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。

④出発3週間～2週間前に旅行説明会を行います。

株式会社 富士国際旅行社 御中 き・り・と・り

参加予約票		絵画にみる革命のパリ マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅		8月7日(月)発	
パスポート ローマ字表記		性別	生年月日	年 月 日 () 才	
氏名		男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒) 【tel】 () - 【fax】 () - 【携帯】 - 【e-mail】				
部屋タイプ	1人部屋(追加費用¥85,000)を希望【する・しない】 2人部屋同室希望の方: 様				

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2023年6月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。
ご出発の33日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料>オプションルツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って40日前以降	旅行費用の10%
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの（一部例示）

- ・航空運賃: 個人包括旅行運賃
- ・ホテル料金: 2人部屋基準、税、サービス料含む
- ・食事代: (旅程表に表記のもの)
- ・空港、駅～ホテル間の送迎バス料金
- ・ガイド料(旅程表に明示したもの)
- ・旅程表に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ
- ・添乗員同行費用

■旅行代金に含まれないもの

- ・旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊費、飲食費等
- ・渡航手続費用: 旅券印紙代(5年用11,000円/10年用16,000円)
- ・渡航手続手数料: (旅券申請書作成代行)
- ・超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分
- ・個人的諸費用: 電話、fax、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸費用等
- ・お一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
- ・空港施設使用料および保安料
- ・日本国内の交通費、前泊の費用
- ・傷害、疾病等に関する医療費 ・任意の旅行傷害保険料
- ・訪問国入国税、航空保険料、特別燃油付加運賃



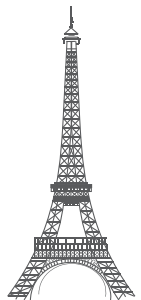
絵画にみる革命のパリ

マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅 8日間

旅行期間 2023年 8月7日(月)～14日(月)

旅行代金 ¥758,000-

上記の費用以外に、海外空港税、燃油付加運賃、空港施設使用料他(約95,000円)が別途必要です(2023年6月1日時点・変動あり)



定員 15名様(最少催行人員10名様)

添乗員 同行します

締切 7月7日(金)

※定員になり次第、締切ります

◆ マルクスとエンゲルス、レーニンの足跡をたどります。

◆ フランス革命、パリコミューンの史跡をめぐります。

◆ マルクスの見た風景を風景を印象派の絵と重ね合わせて見ます。

美術館をめぐると同時に、モネたちがスケッチした場所もめぐります。

◆ オプションルツアーでは「モネの家と庭」(ジベルニー)へご案内します♪

旅行企画・実施

※写真は全てイメージです。

株式会社 富士国際旅行社

日程表

日次	都	市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
8/7 (月)	羽田または成田	発着	航空機専用車	空路✈️ 經由便でフランスの首都パリへ 着後、専用車でホテルへ
8/8 (火)	パ	リ	公共交通	午前：●ベルサイユ宮殿 午後：パリ市内巡り ●オルセー美術館 ◎凱旋門 ◎バスティーユ広場
8/9 (水)	パ	リ	専用車	終日：マルクス・エンゲルス滞在地をめぐる ◎マルクス、エンゲルスの初会合場所(カフェ・ド・ラ・レジャンス跡) ◎インターナショナル事務所 ◎ペール・ラシェーズ墓地 ◎ドラヴェイユ地区
8/10 (木)	アルジャントウイユ		専用車	終日：マルクス最後の旅（1882年）の足跡を訪ねる パリから1時間、郊外のアルジャントウイユへ ◎マルクス娘宅、モネのアトリエ ◎マルクスの温泉療養地（アングィアン） ◎シャトー島 ◎グランド・ジャット島 夜はセーヌ川クルーズ♪
8/11 (金)	パ	リ	公共交通	午前：公衆衛生とレジスタンス運動の歴史を学ぶ ●下水道博物館 ●パリ解放博物館 午後：モンマルトル地区散策
8/12 (土)	パ	リ	公共交通	終日：美術館巡り ●オランジュリー美術館またはルーブル美術館 ●マルモッタンモネ美術館
8/13 (日)	パ	リ	発着	出発まで自由行動 OP：ジベルニー「モネの家と庭園」見学ツアー 午後：空路、帰国の途へ
8/14 (月)	羽田または成田	着		羽田または成田空港着後、解散 お疲れ様でした！
【旅程表のマーク】：B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食 OP=オプション・ツアー、●=入場して見学、◎=外観を見学 【利用予定航空会社】：エミレーツ航空、カタール航空、エールフランス航空、日本航空 【利用予定ホテル】：ルメルディアンエトワール、ノボテルパリサントルトゥールエッフェル または同等クラス				

フランス基本情報

- 正式名称：フランス共和国
- 面積：54.4万Km²（本土、フランス国立統計経済研究所）
- 人口：6090万人（2022年、フランス国立統計経済研究所）
- 首都：パリ
- 気候：海洋性、大陸性、地中海性という主に3種類の気候に分けられる。大部分は海洋性気候の影響を受けており、南部のみ地中海性気候の影響を受ける。
- 時差：-8時間（サマータイム時-7時間）
- 宗教：カトリック、イスラム教、プロテスタント、ユダヤ教等



カール=マルクス（1818～1883）

『ライン新聞』編集長職を失い、次の職を探さねばならなかったマルクスは、『独仏年誌』の共同編集長にならないかという誘いを受け、これを承諾しました。『独仏年誌』の発刊場所についてマルクスはフランス王国領ストラスブールを希望していましたが、最終的には印刷環境がよく、かつドイツ人亡命者が多いフランス王都パリに定められました。こうしてマルクスは1843年10月から新妻とともにパリへ移住し、ルーゲが用意したフォーブール・サンジエルマンの共同住宅でルーゲとともに暮らすようになりました。パリ滞在は14か月程度でしたが、マルクスにとってこの時期は共産主義思想を確立する重大な変化の時期となりました。



アルジャントウイユ

パリの北西10km離れたセーヌ河沿いの町アルジャントウイユ。1851年の鉄道開通によってパリと結ばれたアルジャントウイユは、セーヌでの川遊びなどのレジャーでにぎわう行楽地でしたが、急速に産業化していきました。モネは、1872年から1878年1月までこの街に滞在し、170点以上の作品を制作しています。ルジャントウイユ在住の数年間、モネは好んで現代的なモチーフを取り上げました。人々が忙しく行き交う橋、中流階級向けの洗練された郊外住宅、製鉄所やレンガ工場から伸びる煙突などです。アルジャントウイユは、モネの時代とは様変わりしてしまいましたが、カールマルクス通りと改称されたこの大通りは、モネが家族と暮らした家とともに現存しています。

マルクスの見た風景と印象派



▲オルセー美術館

オプション「モネの家と庭」見学ツアー

パリ郊外の田園の続く静かな農村ジベルニーにあるモネの家は、印象派巨匠・モネが亡くなるまで住んでいた邸宅です。庭園には季節ごとに表情を変える色とりどりの花が咲き乱れ、大作「睡蓮」のモデルとして有名な池と太鼓橋、大きな柳の木が茂るエキゾチックな庭が続きます。



▲ルーブル美術館



フリードリッヒ=エンゲルス（1820～1895）

エンゲルスはマルクスの父が共同所有するイギリスの会社で働いていたブルジョワの息子でした。マルクスが『ライン新聞』編集長をしていた1842年11月に2人は初めて知り合い、以降エンゲルスはイギリスの社会状況についての論文を『ライン新聞』に寄稿するようになりました。1844年、『独仏年誌』への論文投稿を通じてマルクスとエンゲルスは手紙を交わすようになっており、両者の関係は急激に縮まっていきました。8月、エンゲルスはドイツへの帰国の途中、パリでマルクスと再会し、お互いが思想面で資本主義に関する同じ考え方を共有していることを認識、仕事面でも親密な関係を築き、強い友情で結ばれていくようになりました。



▲ペール・ラシェーズ墓地の火葬場

カフェ・ド・ラ・レジャンス

カフェ・ブロコップと並び称されるフランスのカフェ黄金時代を代表する存在です。1世紀以上に渡って、最も有名なチェスの待ち合わせ場所でした。建物は1688年に設立されたパリ中心部のコーヒーハウスで、1718年に命名。当初はオルレアン公爵の庇護の下にあり、文人たちが集っていたといえます。1844年、マルクスとエンゲルスの運命の出会いがこのカフェで行われました。

漫画 マルクス&エンゲルスシリーズ 全4巻

著者：野口 美代子 原作
丸川 楠美 画
中村 敬二 監

出版社：高文研

2人の幼少時代から出会い、そして『共産党宣言』が誕生するまでの波乱万丈な日々が丁寧に描かれているので、これから学習を始める方にもおすすめです！

